

## 指定管理者実績評価シート

## 1. 基本情報

施設名	柏寿荘、南部老人福祉センター、沼南老人福祉センター		
設置目的	老人福祉法第15条第5項の規定により、老人福祉の増進を図る		
指定管理者	名称	社会福祉法人柏市社会福祉協議会	
	所在地	柏市柏5-11-8	
	その他	※指定管理者が共同企業体の場合は、構成団体名を記入	
指定期間（南部、沼南）	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年目）		
指定期間（柏寿荘）	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年目）		
施設所管課	健康医療部	高齢者支援課	

## 2. 評価 ※ 指定管理者からの各種報告書や実地調査等の結果を踏まえた評価を「評価基準」に基づき記入。

※ 施設の特性に沿って、市が指定管理者に何を求めるのか、それを評価するために適切な評価項目を必要に応じて追加。

※ 評価に対するコメント欄は、市が指定管理者に求める運営内容に対し、どのような結果であったかという視点から、全ての評価に対してコメントを記入。

項目	内容	評価	評価に対するコメント
施設管理・運営	維持管理	A	設備の状況把握と共に、保守点検、小規模修繕等の適宜実施を行い、報告もされている。
	安全管理・危機管理	B	傷病や緊急時、苦情時は、マニュアルや研修に基づき適切な対応をしており、適宜報告もされている。
	職員体制	B	安定的な運営の為、職員体制が取れており、更に専門職員の随時協力が得られる体制を整えている。
	職員の育成	B	職員は、内部研修や外部研修の参加により資質向上に努めている。
	運営体制	B	定期的に所長会議、スタッフ会議を実施し、情報の提供を行い、共有をはかっている。
		B	専門的な技術や資格を必要とする業務は、適切な調査の下、委託している。
	自主モニタリング	B	利用者の直接の声を聞き、要望の具体的な反映等を行い、適切な市民サービスの提供と施設運営に努めている。
サービスの質の向上	施設の利用実績	B	価値観が多様化する中で利用者数はやや減少傾向ではあるが、限られたスタッフの中で可能な事業を実施し、利用者確保に努めている。
	実施事業の質の向上	B	例年実施しているまつりも、多世代交流を意識した内容で実施している。
	利用者への対応	B	定期的な施設巡回による利用者の安全確保と衛生管理を徹底している。
	利用者満足度	A	利用者アンケートでは、個人利用、団体利用共に約94%が満足との回答であった。
	情報の発信	B	分野横断的な地域づくりのノウハウを活かし、広く一般市民への周知や情報提供による平等利用を促進している。
	地域等との連携	B	地域組織である町会、自治会やふるさと協議会、地区社会福祉協議会等、福祉団体や医療関係等幅広く連携している。
効率的	収支決算状況	B	大幅な相違はない。

な 管 理	利用料金の徴収	事業計画書どおりに利用料金を適切に徴収しているか。	B	事業計画書どおり、料金を適切に徴収している。
雇用関係	障害者や高齢者等の雇用は仕様書や事業計画書に記載されたとおりとなっているか。	B	職員の高齢者・障害者雇用をはじめ、庭園の剪定を柏市シルバー人材センターに依頼する等、高齢者雇用にも配慮している。	
	市内在住者の雇用確保が図られているか。	B	市内在住者雇用は配慮されている。	
	雇用保険や労災保険には加入しているか。	B	必要な保険に加入している。	
	最低賃金は確保されているか。	B	適切な賃金体制を確保している。	
その 他	市内産業の振興	市内産業の振興への配慮はされているか。	B	維持管理に必要な専門業者による点検業務委託を市内業者に委託している。
	環境保護	環境基本計画、地球温暖化対策の実現に取組んでいるか。	B	節電、節水、ゴミの分別、削減等環境に配慮している。
	法令遵守	法令等は遵守されているか。	B	コンプライアンスに関する規定や関係法令を遵守している。
	個人情報保護 情報公開	個人情報は適正に管理されているか。 情報公開請求への対応は適切か。	B	個人情報の取り扱いや情報公開の対応は適切である。

【個別評価項目の点数換算】

A (優良) : 8点	B (適正) : 5点	C (課題有) : 2点	D (要改善) : 0点
-------------	-------------	--------------	--------------

総合評価	B (適正)	(合計点 : 121 点) (得点率 : 83 %) ※小数点以下、切捨て (満点 : 145 点)
総評		施設の管理・運営、サービスの向上等協定書を遵守しており、指定管理者業務の管理運営状況は概ね良好である。定期的な調整会議だけではなく、必要に応じて適宜報告もなされ、効率的な施設管理を担っている。新型コロナウイルスの影響が根深く、利用人数はコロナ以前に戻っていない状況であるが、感染症対策をしつつ、引き続きイベント等の充実や自主事業の展開等で工夫を凝らすことで、利用者の拡大を図っていただきたい。

【総合評価の算出方法】

A	優良	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が85%以上 かつ すべての項目においてB評価以上 かつ 評価項目【施設管理・運営】及び【サービスの向上】の各区分においてA評価があり、当該2区分におけるA評価が4項目以上
B	適正	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が75%以上 かつ D評価がなく、C評価が1項目以下
C	課題有	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が40%以上 かつ D評価が1項目以下
D	要改善	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が40%未満 または D評価が2項目以上

3. 課題解決の結果

※ 事業年度とその前年度に生じた課題への対応結果を、いつ頃どのように改善したか等を記入

【事業年度とその前年度からの課題】
魅力的な事業を展開するなどして、コロナ禍以降減少している利用人数の増加を目指す。物価高騰が続く中ではあるが、限られた資源を有効活用することで効率的な施設の運営を目指す。また、設備の老朽化が著しいため、修繕は優先順位を決めて適切に対応していく。

【課題への対応結果】

新規利用者獲得のため、いきいきセンターや地域包括支援センターと連携して施設の紹介をしたり、未登録の講座参加者はもちろん、すでにセンターを利用している人にもパンフレットを配布し利用の呼びかけをするなどして利用につなげることができたケースがいくつかあった。実施事業については、実施回数より質を高めることにシフトチェンジし、町会や学校に協力いただいた事業を展開したり、いきいきセンターや地域包括支援センターに協力を仰ぐことで利用者の生活に役立つ講座を実施した。また、会議において支出抑制の意識づけをすることで、高騰する光熱水費を予算内におさめている。
--

4. 次年度の管理運営に向けた課題

※ 次年度の管理運営に向けての課題や指定管理者に取組んでほしいこと等を記入

次年度は今後の老人福祉センターのあり方を見据えて、より一層多世代交流事業に関する事業を展開いただきたい。 また、昨今の物価高騰も踏まえ、限られた予算の中であるため、引き続き節約の意識を持つつ、指定管理者の資源やノウハウを有効活用することで魅力的で安全な施設運営をお願いしたい。
---

5. 労働条件審査の結果

※ 審査結果の総評を記入

労働基準法及び労働安全法に準拠しており、適切な運用が行われている。
-----------------------------------